

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

# おおづ

# 2

FEBRUARY 2019



今月のみどころ

巻頭記事

平成31年

大津町

## 成人式

成人式「少し」先輩からのメッセージ

古賀 紗理那 さん  
バレーボール選手

芋生 悠 さん  
女優

# Clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人

Public relations  
OZU TOWN



救急救命士の実習での一枚。個性豊かな仲間と出会えたことも自分の成長につながっているという(右から2番目が本田さん)。

広報 おおづ 2019 2

発行・編集 ■大津町・総務課  
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233番地  
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>  
※広報のおおづは環境に配慮して再生紙と植物インクを使っています。

UD FONT  
易やすく読みまちがえにくい  
コンピューターフォント  
を採用しています。



### 「これまでの経験が 今の私の生きる力です」

ほんだ まさみち  
本田 将道さん(陣内)

平成31年大津町成人式で「二十歳の誓い」を務めた本田将道さんは、今年の成人式を作り上げたメンバーの一人だ。今回は、そんな本田さんをクローズアップする。

友人からの誘いで成人式実行委員になった本田さん。昔から周りを喜ばせるのが好きで、「みんなの喜ぶ顔が見たい」という思いから、迷わず実行委員になることを決めた。

救急救命士を目指して学校に通う本田さん。そのきっかけは、大きな被害をもたらした平成28年熊本地震だった。当時高校3年生、地震の被害から避難所に一時身を寄せ、不安と隣り合わせの中で、現実を受け止められず眠れない日もあった。そんな中、自らも被災しながら懸命に被災者を支援する消防士、救急救命士の姿が目に入り、勇気づけられたという。「自分も苦しんでいる人を助けたい」本田さんがそう思うようになるのに時間はかからなかった。現在、資格試験に向けて猛勉強中だ。

学校の厨房に立っている本田さん。「料理って大変ですね。当たり前のように作ってくれる母に感謝です」と言っている。恥じらうことなく母への感謝を口にする姿はとても大人に見えた。

本田さんはボランティアにも積極的に参加している。子どもたちのキャンプスタッフや高齢者施設の夏祭りの運営、時には熊本城マラソンの医療関係スタッフなど。「救急救命士は子どもから年配の人まで全ての人と接する仕事なので、相手のことをもっと知りたくて学ぶことも多く、何より楽しかったですね」さまざまな経験は、全て本田さんが目指す救急救命士になるために必要なことだ。

「災害や救助の現場での確かな判断ができる、みんなに信頼される救急救命士になりたい。そのためにも、自分から行動し続けます」日々の一つ一つの行動が信頼を作り上げていく。常に学ぶ姿勢を持ち、自ら行動していく本田さんの未来は、無限の可能性を秘めている。

### からいもくん便り

大津町総合情報メール



携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。

QRコード

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

▼遅くなりましたが新年あけましておめでとうございます。今年も「広報おおづ」をよろしくお願ひします。▼成人式の取材では、自分の夢や目標をしっかりと語る新成人の皆さんに驚きました。今思い返すと、自分が二十歳の頃はまだまだ子どもだったな...と思います。あの頃と比べ成長できているのか分りませんが、自分が思い描く大人に近づけるよう頑張ります。▼県広報コンクールで「広報おおづ」が佳作に入選しました。取材を受けてくださった住民の皆さん、支えてくださった皆さんののおかげです。ありがとうございました。町をもっと好きになってもらえ、広報紙を目指して精進します(四)

ついでの声